

「高尾小仏育樹祭 2022 春」に参加！

2022/04/23

2022年4月23日（土）、[「高尾小仏育樹祭 2022 春」](#)に参加しました。高尾小仏における植樹は、中央高速道路の小仏トンネルの工事残土から成る盛土場に、自然環境保全及び防災の観点も踏まえて「森」を再生する取り組みで2017年に開始し、毎年、植樹祭を実施しています。[宮脇昭先生](#)（横浜国大名誉教授）が提唱された[潜在自然植生](#)に基づく混植・密植方式を採用しています。私達が推進する[「いのちの森づくり」](#)の大切な拠点の一つであり、有難いことに、[「どんぐりブラザーズ」](#)（福祉施設の森づくりチーム）が手掛けた苗木を多数ご利用頂いています。



これまで、木々は順調に生長していますが、植樹後3年程は雑草や蔓性植物から苗木を守るために、定期的な育樹（除草）作業が必要です。これに加えて、今回は、昨年10月に植樹した場所にイノシシや鹿が侵入し、獣害を被った部分の手直し作業が急務となりました。密植度が落ちてしまった箇所には、300本の補植を行いました。内200本は予算措置（注）を講じて頂きました。残り100本は、[「いのちの森づくり友の会」基金](#)を活用して提供させて頂きました。

主催者の[NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会（レナフォ）](#)、レナフォの植生工学士にボランティア、土地を所管される中日本高速道路（株）（NEXCO 中日本）、地元自治会、地盤造成を担われている鹿島建設・清水建設の方々をはじめ、関係者130名近くが集いました。進和学園・研進からも参加し、「どんぐりブラザーズ」の一員である地元の[NPO 法人あるが（ハッピーフルーツ）](#)及び[（社福）あすなろの会みとおし](#)の皆様も一緒に作業に励みました。長期化するコロナ感染対策として、マスク着用にソーシャル・ディスタンスにも留意しつつ、新緑が美しい高尾の自然に包まれて爽やかな汗を流しながら、楽しい交流の機会となりました。



植樹地で発見された鹿の角

（注）国際ふるさとの森づくり協会（レナフォ）が主催する高尾小仏植樹活動に対して、米国の非営利環境慈善団体である[ONE TREE PLANTED](#)様より「協賛」頂けることとなりました。補植用の苗木200本について予算を付与して頂きました。心より感謝申し上げます。



2020年度植樹地の育樹（除草）・補植作業



2021年秋の植樹地の育樹（手直し）

協賛企業・団体（敬称略／苗木本数・五十音順）	
NPO法人国際ふるさとの森づくり協会（ONE TREE PLANTED）	苗木 200 本をご購入の上ご提供。
本田技研工業株式会社	苗木 50 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。
株式会社ホンダロジスティクス	苗木 50 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄付を通してご提供。

【参考】

- ・[高尾小仏育樹祭 2022 春（案内チラシ：PDF）](#)

高尾小仏植樹祭 2021 に参加！

2021/10/12

2021年10月10日（日）、東京都八王子市裏高尾町（都立高尾陣場自然公園内）において、「高尾小仏植樹祭 2021」が開催されました。中央高速道路の小仏トンネルの工事残土による広大な盛土場に、[宮脇昭](#)先生（横浜国大名誉教授）が提唱された「その土地本来の木による本物の森（自然の森）」を再生する取り組みで、5回目（5年目）の植樹祭となります。

宮脇方式（混植・密植）による植樹を推進する[NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会（レナフォ）](#)が主催し、盛土場を所管される中日本高速道路（株）（NEXCO 中日本）が共催、（公）イオン環境財団はじめ企業のご協賛を得ると共に、[進和学園いのちの森づくり友の会](#)が、今回も苗木の提供等に係わる協力メンバーとして参画しています。

幸いにもコロナ緊急事態宣言が解除され、一般募集の皆様も含め260名近くが集いました。引き続きコロナ対策（検温、マスク着用、3密回避）にも注意しながら、20種類／3,300本の苗木を植樹することが出来ました。盛土場の最上部に連なる急斜面のため、開会式では安全第一に作業を行なうための注意点の説明を受けました。確かに身動きも困難な凄まじい斜面での植樹でしたが、各班で苗木や稲ワラ（マルチング材）をバケツリレーで運ぶ等、チームワークを発揮して頑張りました。作業を終えた皆様の笑顔が、コロナ禍の憂鬱を吹き飛ばすかのように弾ける素晴らしい植樹イベントとなりました。

今回も、「[どんぐりブラザーズ](#)」（福祉施設の森づくりチーム）が栽培した苗木を多数ご利用下さると共に、在庫のない樹種については、[エスベックミック（株）](#)様のご協力を得て調達させて頂きました。「森づくり」を通じた自然環境保全や防災に加え、障害のある方達の就労支援にも繋がる付加価値の高い植樹活動です。ご支援頂いた企業・団体はじめ参加下さった皆様に厚く御礼申し上げます。



模擬店も出店し大勢の皆様と交流！ 写真の時だけマスクを外し 心の中で「タブノキ！」

協賛企業・団体（敬称略／苗木本数・五十音順）	
NPO法人国際ふるさとの森づくり協会 （イオン環境財団他）	苗木 2,566 本をご購入の上ご提供。
P G F（プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル） 生命保険株式会社	苗木 444 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄付を通してご提供。
環境まちづくり NPO エコメッセ	苗木 111 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄付を通してご提供。
本田技研工業株式会社	苗木 100 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄付を通してご提供。
ミドリ安全株式会社	苗木 79 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄付を通してご提供。

(注) 上記の苗木本数は、進和学園の標準価格にて換算した本数です。

また、上記には、横浜ゴム（株）の社員の皆様が栽培された幼苗を進和学園にご寄贈頂き、栽培を引き継がせて頂いた苗木が3種類（ウラジロガシ、シロダモ、ヤブニケイ）523本含まれています。重ねて感謝申し上げます。



「どんぐりブラザーズ」(NPO法人あるがハッピーフルーツ&進和学園)・研進は、第10班を担当！

【参考】案内チラシ ⇒ [「高尾小仏植樹祭 2021」\(PDF\)](#)
動画配信 ⇒ [「レナフォ・動画集」\(YouTube\)](#)

高尾小仏植樹活動「育樹作業」に参加！～追悼の「補植」も実施！～

2021/09/26

2021年9月26日（日）、高尾小仏植樹地の「育樹作業」に参加しました。2017年に開始された植樹は、中央高速道路の小仏トンネルの工事残土から成る巨大な盛土場に、自然環境保全及び防災の観点も踏まえて「森」を再生する取り組みです。[宮脇昭先生](#)（横浜国大名誉教授）が提唱・指導された[潜在自然植生](#)に基づく混植・密植方式を導入しています。私達が推進する「[いのちの森づくり](#)」の大切な拠点の一つであり、有難いことに、[「どんぐりブラザーズ」](#)（福祉施設の森づくりチーム）が手掛けた苗木を多数ご利用頂いています。

これまで、木々は順調に生長していますが、植樹後3年程は雑草や蔓性植物の繁茂を放置すると樹木の生長が阻害されてしまうため、定期的な育樹（除草）作業が必要となります。コロナ禍においても、自然の営みは変わりません。

コロナ緊急事態宣言が延長されており、今回も、一般公募は行わず、主催者の[NPO 法人国際ふるさと森づくり協会（レナフォ）](#)、レナフォの植生工学士にボランティアの皆様、土地を所管される中日本高速道路（株）（NEXCO 中日本）、地元自治会、地盤造成に関与されている鹿島建設・清水建設の方々をはじめ、関係者約70名が集いました。春と同じく、進和学園からの参加は控え、窓口会社の研進スタッフが代表して参加、地元の福祉施設[NPO 法人あるが（ハッピーフルーツ）](#)の皆様と共に作業に励みました。マスク着用によりソーシャル・ディスタンスも意識しつつ、美しい高尾の自然に触れながら爽やかな汗を流しました。

また、この度、相次いでご逝去された宮脇昭先生とレナフォ理事長の高野義武様の追悼の念を込めて、育樹作業終了後にプロジェクト関係者と有志による苗木210本の「補植」を行いました。お二人のご功績を称え、ご冥福をお祈り申し上げながら、ご指導頂いた「いのちの森づくり」を将来に向けてしっかりと継承して行こうと誓い合いました。

Tree-Planting in TAKAO KOBOTOKE
高尾小仏植樹
2021年9月26日（日）
育樹（除草）・補植作業



 **育樹**



 **補植**

高尾小仏植樹活動「育樹作業」に参加！

2021/05/29

2021年5月29日（土）、高尾小仏植樹活動の一環として実施された「育樹作業」に参加しました。2017年に開始されたこの活動は、中央高速道路の小仏トンネルの工事残土から成る巨大な盛土場に、自然環境保全及び防災の観点も踏まえて「森」を再生する取り組みです。[宮脇昭先生](#)（横浜国大名誉教授）が提唱・指導される[潜在自然植生](#)に基づく混植・密植方式が導入されています。私達が推進する[「いのちの森づくり」プロジェクト](#)の大切な拠点の一つであり、有難いことに、[「どんぐりブラザーズ」](#)（福祉施設の森づくりチーム）が手掛けた苗木を多数ご利用頂いています。



2019年9月第3回植樹地



2018年9月第2回植樹地



2020年9月第4回植樹地

これまで、苗木は順調に生長していますが、植樹後3年程は雑草や蔓性植物の繁茂を放置すると樹木の生長が阻害されてしまうため、年2回程度の育樹（除草）作業が必要です。コロナ禍においても、この保全活動は欠かせません。

主催者の[NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会（レナフォ）](#)では、元々、一般公募による「育樹祭」を計画していましたが、東京では、コロナ緊急事態宣言が発令されており、一般からの募集は断念し関係者有志による「育樹作業」として実施されました。

レナフォの植生工学士にボランティアの皆様、土地を所管される中日本高速道路（株）（NEXCO 中日本）、地元自治会、地盤造成に関与されている鹿島建設・清水建設の方々をはじめ、総勢39名が集いました。進和学園からは、コロナ禍により参加は控え、窓口会社の研進スタッフ4名が代表して参加、地元の福祉施設[NPO 法人あるが（ハッピーフルーツ）](#)の職員の皆様と共に作業に励みました。



作業を終えて 皆さん、お疲れ様でした！ あるがハッピーフルーツさんの手づくり弁当で腹ごしらえ

マスク着用にもソーシャル・ディスタンスも意識しながら、午前中の約2時間、美しい高尾の自然に触れながら爽やかな汗を流しました。コロナが終息して、一般の皆様にも安心してご参加頂き、楽しく交流しながら活動出来ることを願っています。



レナフォ事務局、あるがハッピーフルーツの皆様と記念写真！

「どんぐりブラザーズ」大活躍！～秋の育樹・補植に励む！～

2020/12/08

私達、福祉施設の森づくりチーム「[どんぐりブラザーズ](#)」は、植樹祭等のイベントへの参加に加えて、これまで植樹して来た場所の保全活動としての育樹(除草)や補植作業にも従事しています。高尾小仏における「補植」は、本年7月2日に初めて着手しましたが、これに続いて今秋も、イノシシや鹿害により荒らされた箇所の手直しと共に「補植」を計画的に実施しました。

2020年10月20日、地元のNPO法人あるが(ハッピーフルーツ)及び(社福)あすなろの会(みとおし)に県央福祉会(パステルファームワーキングセンター)の皆さんと協力して私達が栽培した苗木9種類100本を補植しました。

更に、11～12月上旬にかけて補植を段階的に実施し、同地での「補植」は、下記の通り累計820本となります。これまで4回の植樹祭で合計13,910本を植樹しており、苗木は順調に生長していますが、獣害(鹿、イノシシ等)を受けた場所の混植・密植状態を保つために手当てをしています。「補植」の比率は5.9%と低率に止まり、全体としての活着率は良好です。

【補植実績】

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ① 7月 2日(木): 20種類200本 | ② 10月20日(火): 9種類100本 |
| ③ 11月10日(火): 10種類160本 | ④ 12月 1日(火): 17種類200本 |
| ⑤ 12月 8日(火): 15種類160本 | <補植累計: 820本> |



高尾小仏植樹地の保全／鹿の侵入により荒らされた箇所を手直し



植樹地で発見した鹿の角



高尾小仏 2017&2018年植樹地の補植作業 2020年11月10日

[高尾小仏の補植 報告書 \(2020.12.8\)](#)
[高尾小仏の補植 報告書 \(2020.11.10\)](#)

[高尾小仏の補植 報告書 \(2020.12.1\)](#)
[高尾小仏の補植 報告書 \(2020.10.20\)](#)



「どんぐりブラザーズ」3施設(あるが、県央福祉会、あすなろの会)にボランティア&研進 合計27名が参加

上記活動においては、下記の企業・団体様による「[いのちの森づくり友の会 基金](#)」へのご寄付を活用させて頂きました。皆様の温かいご支援に重ねて御礼申し上げます。

【高尾小仏における補植ご支援】

- ①苗木提供: 大樹生命保険(株)様: 344本
PGF(プルデンシャル・グループ・ファイナンシャル)生命保険(株)様: 194本
(株)サン・ライフ様: 137本
ホットケーキパーラーFru-Full様: 95本
NPO法人無形価値評価・認定センター様: 50本
②労務工賃: 本田技研工業(株)様、(株)ホンダロジスティクス様、ミドリ安全(株)様



常緑に加え落葉広葉樹も多く植樹しており紅葉が美しい高尾小仏植樹地 2020年12月8日

高尾小仏植樹祭 2020 に参加！

2020/09/27

2020年9月27日(日)、東京都八王子市裏高尾町(都立高尾陣場自然公園内)において、「高尾小仏植樹祭 2020」が開催されました。中央高速道路の小仏トンネルの工事残土による広大な盛土場に、[宮脇昭](#)先生(横浜国大名誉教授)が提唱される「その土地本来の木による本物の森(自然の森)」を再生する取り組みで、4年目/4回目の植樹祭となります。当初、6月28日に予定されていましたが、コロナ禍により延期されていたものです。

宮脇方式(混植・密植)による植樹を推進する[NPO 法人国際ふさとの森づくり協会\(レナフォ\)](#)が主催し、盛土場を所管される中日本高速道路(株)(NEXCO 中日本)が共催、(公)イオン環境財団はじめ企業のご協賛を得ると共に、[進和学園いのちの森づくり友の会](#)が、苗木の提供等に係わる協力メンバーとして参画しています。

霧雨模様の中、有難いことに一般募集の皆様も含め約170名が集いました。コロナ対策として受付での検温、マスク着用、「3密」を回避することにも注意しながら、38種類/3,868本の苗木を植樹することが出来ました。幸い、植樹作業に移ると雨も上がり、絶好の植樹日和に！各班で安全に注意しながらチームワークを発揮して頑張りました。作業を終えた皆様の笑顔が弾ける素晴らしい植樹イベントとなりました。



上: 受付での検温
中: ファミリーで参加！
右: 植樹地へ移動



[「どんぐりブラザーズ」](#)(福祉施設の森づくりチーム)が栽培した苗木も2,112本をご利用下さると共に、在庫のない樹種については、[エスベックミック\(株\)](#)様のご協力を得て調達させて頂きました。「森づくり」を通じた自然環境保全や防災に加え、障害のある方達の就労支援にも繋がる付加価値の高い植樹祭となりました。ご支援頂いた企業・団体はじめ参加下さった皆様に厚く御礼申し上げます。



左: 1㎡に3本程度の異なる樹種を混植します！
右: マルチング材の稲わらを敷き詰めます！

協賛企業・団体（敬称略／苗木本数・五十音順）	
NPO法人国際ふるさとの森づくり協会 （イオン環境財団他）	苗木 2,070 本をご購入の上ご提供。
（株）サン・ライフ	苗木 748 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄付を通してご提供。
P G F （プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル） 生命保険株式会社	苗木 444 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄付を通してご提供。内、250 本を植樹。 残り 194 本は別途補植予定。
NPO 法人無形価値評価・認定センター	苗木 250 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄付を通してご提供。内、200 本を植樹。 残り 50 本は別途補植予定。
環境まちづくり NPO エコメッセ	苗木 200 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金のご寄付を通してご提供。
本田技研工業株式会社	苗木 200 本及び労務工賃を進和学園「いのちの森づ くり友の会」 基金へのご寄付を通してご提供。
株式会社ホンダロジスティクス	苗木 100 本及び労務工賃を進和学園「いのちの森づ くり友の会」 基金へのご寄付を通してご提供。
ミドリ安全株式会社	苗木 100 本及び労務工賃を進和学園「いのちの森づ くり友の会」 基金へのご寄付を通してご提供。

（注）上記の苗木本数は、進和学園の標準価格にて換算した本数です。

また、上記には、横浜ゴム（株）の社員の皆様が栽培された幼苗を進和学園にご寄贈頂き、栽培を引き継がせて頂いた苗木（ウ
ラジロガシ、ヤブツバキ）が合計 2 8 7 本含まれています。重ねて感謝申し上げます。

＊動画配信 ⇒ [「高尾小仏植樹祭 2020／2019／2018」\(YouTube\)](#)



上：NPO法人あるがハッピーフルーツ、(社福)あすなろの会みとおし
の皆さんと（植樹作業の休憩タイム）

右：植樹を終えて／進和学園模擬店（焼きたてパンの販売）





①



②



③

高尾小仏植樹祭2020 準備作業
2020年 9月 25日(金)
雨天の中、皆で力を合わせて頑張りました！

①進和学園トラック到着 苗木の荷卸し
②苗木の荷卸し 樹種ごとに纏める
③苗木の仕分け トレーに複数の樹種を入れる
④稲わら(マルチング材)の荷卸し
⑤稲わらの移送 植樹地の各班へ配置



④



⑤

高尾小仏植樹活動「育樹祭」に参加！

2020/09/20

2020年9月20日(日)、高尾小仏植樹活動の一環として「育樹祭」が開催されました。
2017年に開始されたこのプロジェクトは、中央高速道路の小仏トンネルの工事残土から成る巨大な盛土場に、自然環境保全及び防災の観点も踏まえて「森」を再生する取り組みです。これまでの植樹地において、苗木は順調に生長していますが、植樹後3年程度は雑草や蔓性植物の繁茂を放置すると樹木の光合成が阻害されてしまうため、年2回程度の育樹(除草)作業が必要です。コロナ禍においても、この保全活動は手を抜くことは許されません。6月の育樹作業から3ヶ月半が経過し、夏の間に雑草がかなり目立つようになりました。この日、秋雨前線の影響で小雨模様の中を69名が参加して約2時間、広大な植樹地を手分けして作業に励みました。



上: 2017年の植樹地の育樹(除草)作業
右: NPO法人あるが(ハッピーフルーツ)の皆さんと



2020年9月20日

コロナ対策として、マスク着用にソーシャル・ディスタンスも意識しながら作業に当たりました。植樹活動を主催する [NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会（レナフォ）](#)、土地を所管される中日本高速道路(株) (NEXCO 中日本)の方々をはじめ、日頃よりお世話になっている植樹ボランティアの皆様とも久し振りに再会。また、地元の福祉施設 [NPO 法人あるが（ハッピーフルーツ）](#) の皆さんとも交流しながら、進和学園「どんぐりグループ」メンバー及び研進スタッフも奮闘しました。



作業を終えて・・・本日の成果報告！

1週間後の9月27日（日）には、第4回の植樹祭が予定されています。コロナ対策に十分注意しつつ、皆様とご一緒に木を植えられることを楽しみにしています。



いまむら瞭さんと溝端育和さんによるミニ・コンサート
「森へ」(作詞作曲：いまむら瞭)・・・とても綺麗な曲で、溝端育和さんの美しい歌声に皆さん癒されました！

YouTube: [「森へ」\(作詞作曲：いまむら瞭／歌：溝端育和\)](#)

【参考】

[「高尾小仏植樹祭 2020」\(PDF：案内チラシ\)](#)

[「高尾小仏植樹祭 2018／2019」\(YouTube\)](#)

[過去3回の植樹祭\(2017、2018、2019／看板\)](#)

[高尾小仏「育樹祭」に参加\(2020.6.7\)](#)

[高尾小仏育樹\(苗木の修復作業\)\(2020.5.16\)](#)



高尾小仏植樹地 2020年9月20日

高尾小仏植樹活動 ～ 苗木の保全作業に励む！ ～

2020/05/16

中央高速道路の小仏トンネルの工事残土から成る巨大な盛土場に、自然環境保全及び防災の観点も踏まえ、潜在自然植生の広葉樹を混植・密植方式で植樹する「高尾小仏植樹活動」は、2017年にスタートしました。これまで [3回の植樹祭](#) を開催し累計約10,042本(注)の苗木を植えています。第4回植樹祭は、2020年6月28日に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染の影響を受け延期が決定しています。

一方、植樹後2～3年間は、苗木の樹高も低く雑草の繁茂により日照が遮られ生長が阻害されてしまうため、育樹(除草)作業を定期的に施す必要があります。

2020年5月15日、盛土場を所管される中日本高速道路(株)(NEXCO 中日本)、植樹地盤を造成下さっている鹿島建設(株)の皆様と研進スタッフの合計10名が集い次の育樹作業を行いました。

- ① 第2回(2018年)植樹地の除草作業
- ② 第3回(2019年)植樹地の苗木保全作業
(昨秋の台風により倒された苗木の修復)



新型コロナウイルスに備えマスク着用、距離を置いての記念写真 高尾小仏育樹 2020年5月15日



第3回(2019年)植樹地での苗木保全作業
急斜面での作業に爽やかな汗を流しました!



【ランチ・タイム】
鹿島建設さんご提供
カレーライス 御馳走さまでした!



コロナウィルスにより世の中は停滞していますが、自然の営みは一瞬たりとも休むことはありません。雑草の勢いはすさまじく、これを除去して苗木の根元に置いてマルチング材(保湿・肥料)として活かします。

また、昨年の台風19号他的大雨により急斜面ではマルチング材として敷き詰めた稲ワラが流され苗木を倒してしまった個所が多数発生しました。稲ワラの下に隠れてしまった苗木を1本1本取り出す作業を粘り強く実施しました。コロナ対策としてマスク着用、「3密」を回避する異例の作業でしたが、天候にも恵まれ爽やかな風も心地良く、充実した日中作業となりました。

(注) 高尾小仏植樹活動においては、進和学園はじめ「[どんぐりブラザーズ](#)」が栽培した苗木を優先的にご利用頂いており、障害のある方々の就労支援にも繋がっています。ご利用頂いた苗木は、「[いのちの森づくり友の会](#)」基金からの寄贈分を含めて、累計7,842本(補植160本を含む)に及びます。

高尾小仏植樹祭 2019 に参加！

2019/09/23

2019年9月23日（祝・月）、東京都八王子市裏高尾町（都立高尾陣場自然公園内）において、「高尾小仏植樹祭 2019」が開催されました。中央高速道路の小仏トンネルの工事残土による広大な盛土場に、[宮脇昭](#)先生（横浜国大名誉教授）が提唱される「その土地本来の木による本物の森（自然の森）」を再生する取り組みで、2017年にプロジェクトがスタートしてから3回目の植樹祭となります。

宮脇方式（混植・密植）による植樹活動を推進する [NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会（レナフォ）](#) が主催し、盛土場を所管される中日本高速道路（株）（NEXCO 中日本）が共催、（公）イオン環境財団、（公）国土緑化推進機構等のご支援を得ると共に、[進和学園いのちの森づくり友の会](#) が、苗木の提供等に係わる協力メンバーとして参画しています。

接近する台風の影響で開会式には雨が降り始めましたが、幸いに植樹作業に入ると青空も覗き陽光が注ぐ空模様の下、250名近くが集いました。予定通り、12区画に38種類／3,453本の苗木を植樹することが出来ました。かなりの急斜面で、蒸し暑さもあり大変でしたが、各班で安全に注意しながらチームワークを発揮し遣り遂げました。作業を終えた皆様の笑顔が弾ける素晴らしい植樹イベントとなりました。



開会式を終えて集合記念写真



盛土場の斜面での植樹／12区画に分かれ皆で力を合わせて！

進和学園はじめ「[どんぐりブラザーズ](#)」（福祉施設の森づくりチーム）が栽培した苗木を半数以上ご利用頂くと共に、在庫のない樹種については、[エスベックミック（株）](#)様の特段のご協力を得て調達させて頂きました。

「森づくり」を通じた環境保全や防災に加え、障害のある方達の就労支援にも繋がる付加価値の高い植樹祭となり、ご支援頂いた企業・団体はじめ参加下さった皆様に厚くお礼申し上げます。



地球温暖化対策としての植樹／ささやかな取り組み！



自然に触れて命の尊さを学ぶ！



植樹完了！ PGF（プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル）生命保険の皆様と記念撮影

協賛企業・団体（敬称略／苗木本数・五十音順）	
NPO法人国際ふるさとの森づくり協会 （イオン環境財団、国土緑化推進機構）	苗木 2,758 本をご購入の上ご提供。
PGF（プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル） 生命保険株式会社	苗木 444 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄附を通してご提供。内、295 本を植樹 残り 149 本は別途植樹。（9 月 30 日「補植」に利用）
本田技研工業株式会社	苗木 100 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄附を通してご提供。
株式会社ホンダロジスティクス	苗木 100 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄附を通してご提供。
ミドリ安全株式会社	苗木 100 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 金へのご寄附を通してご提供。
その他	苗木 100 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金 を活用してご提供。

（注）上記の苗木本数は、進和学園の標準価格にて換算した本数です。
また、上記には、横浜ゴム（株）の社員の皆様が栽培された幼苗を進和学園にご寄贈頂き、栽培を引き継がせて頂いた苗木（ウラジロガシ）が 60 本含まれています。重ねて感謝申し上げます。

参考：＊案内チラシ ⇒ [「高尾小仏植樹祭 2019」\(PDF\)](#)
＊動画配信 ⇒ [「高尾小仏植樹祭 2018」\(YouTube\)](#)

高尾小仏 春の育樹作業

2019/05/19

私達が推進する「[いのちの森づくり](#)」プロジェクトでは、自ら育てた苗木を各地に植樹すると共に、植樹地のメンテナンスとして必要な育樹（除草）作業も重要なウェイトを占めています。植樹後、2～3年は、苗木の生長よりも雑草の繁茂が激しく日照を遮ったり、つる性植物による被圧により生長が阻害される懸念があり、育樹（除草）作業を行う必要があります。

今シーズンも4～7月にかけて、私達は計画的に植樹地の育樹活動に励んでいます。公共性が認められる植樹地については、皆様からのご寄附や協賛・助成による「[いのちの森づくり友の会](#)」基金が、作業に従事する障害者への工賃還元の原資として活用されています。

2019年5月19日（日）、直近2年間で約6,500本の苗木を植えた高尾小仏の育樹祭が開催され、私達も参加させて頂きました。中央高速道路の小仏トンネル工事の残土から成る広大な盛土場に「自然の森」を再生する取り組みです。



作業を終えて
具沢山の
煮込みうどん
ご馳走様です！
高尾小仏植樹地
育樹（除草）作業

主催者の[NPO法人国際ふるさとの森づくり協会](#)、盛土場を管理される中日本高速道路（株）（NEXCO 中日本）の皆様にご協力いただき、地域住民代表や一般参加者も合わせ約30名が集まりました。植樹地の下方から斜面を登りながら雑草を刈り取りました。雑草も大切な地球資源であり、廃棄せずに苗木の根元に敷いてマルチング材として活かします。皆で協力し合い午前中で作業を終えることが出来ました。



上：植樹地に設置された看板
右：育樹（除草）作業の段取り説明



高尾小仏育樹祭2019春 約30名が集い植樹地の育樹（除草）作業に励みました！ 2019年5月19日（日）

高尾小仏植樹祭 2018 に参加！

2018/09/25

2018年9月24日（祝・月）、東京都八王子市裏高尾町（都立高尾陣場自然公園内）において、「高尾小仏植樹祭 2018」が開催されました。中央高速道路建設で出来た小仏トンネルの残土による広大な盛土場に、[宮脇昭](#)先生（横浜国大名誉教授）が提唱される「その土地本来の木による本物の森（自然の森）」を再生しようというプロジェクトで、昨年に続いて2回目の植樹イベントです。

宮脇方式による植樹活動を実践している [NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会（レナフォ）](#) が主催し、盛土場を所管される中日本高速道路（株）（NEXCO 中日本）が共催、（公）イオン環境財団、（公）国土緑化推進機構等のご支援を得ると共に、[進和学園いのちの森づくり友の会](#) が、苗木の提供等に係わる協力メンバーとして参画させて頂きました。

天候にも恵まれ約280名が参加、12区画4,000本の植樹を実施しました。進和学園はじめ「[どんぐりブラザーズ](#)」（福祉施設の森づくりチーム）が栽培した苗木も多数利用され、「森づくり」を通じた環境保全や防災に加え、障害のある方達の自立・就労支援にも繋がる意義深い植樹祭となりました。山道沿いの急斜面での植樹は、自由に身動きも出来ず大変でしたが、各班で安全を最優先しながらチームワークで遣り遂げました。

昼食を挟み午後からは、有志の方々により昨秋の植樹地における育樹（除草）作業も行い、「森づくり」を通じた交流を深めることが出来ました。

「どんぐりブラザーズ」が手掛けた苗木は、合計1,760本をご利用頂きましたが、下記企業・団体様（敬称略）のご支援ご協賛により実現しました。厚く御礼申し上げます。また、下記の苗木には、横浜ゴム（株）の社員の皆様が栽培された幼苗を進和学園にご寄贈頂き、栽培を引き継がせて頂いた苗木（ウラボシ等）が合計251本含まれています。重ねて感謝申し上げます。



レナフォ
高野義武理事長

開会式
苗木の名称連呼セレモニー
アカガシ（常緑広葉樹）
コナラ（落葉広葉樹）
ムラサキシキブ（落葉低木）



自然種の広葉樹32種類 4,000本のポット苗を密植・混植（宮脇方式）により植樹。
苗木を植えた後、稲ワラをマルチング材として敷き詰めます。各班で力を合わせて爽やかな汗を流しました！

「いのちの森づくり友の会」基金へのご寄附を通じて苗木をご寄贈頂いた「モッチの樹プロジェクト」の皆様

協賛企業・団体（敬称略）	
NPO法人国際ふるさとの森づくり協会 （イオン環境財団、国土緑化推進機構）	苗木 1,458 本をご購入の上ご提供。
環境まちづくりNPOエコメッセ	苗木 100 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄附を通してご寄贈。
ミドリ安全株式会社	苗木 100 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金へのご寄附を通してご寄贈。
モッチの樹プロジェクト	苗木 75 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金 へのご寄附を通してご寄贈。
ホットケーキパーラー「フル・フル」	苗木 27 本を進和学園「いのちの森づくり友の会」 基金 へのご寄附を通してご寄贈。

（注）上記の苗木本数は、進和学園の標準価格にて換算した本数です。

参考：＊案内チラシ ⇒ [「高尾小仏植樹祭 2018」\(PDF\)](#)
＊動画配信 ⇒ [「高尾小仏植樹祭 2018」\(YouTube\)](#)

